

問一

次の例のように、主語に 線、述語に 線を引きましょう。

(例) 父が お店を 開きました。

- ① 母が かんばんを 描きました。
- ② 私も メニューを 考えました。
- ③ キッチンでは 父が 腕を ふるいます。
- ④ おいしい 料理の においが 店内に 流れます。
- ⑤ おきやくさんたちは テーブルで 笑顔の 花を 咲かせました。

問二

次の文の 線部は修飾語(他をくわしく表す言葉)です。例文のように、線部がかかる言葉(被修飾語)を 線部より選び、記号で書きましよう。

(例) くんは、いたずらばかり して、い兵十を 困らせました。

ア

- ① くんは、ひとりぼっちの 穴に 住む 子ぎつねです。
- ② 兵十は、あみを 押すぶって いました。
- ③ くんは、うなぎの 頭を 口に ぐわえました。
- ④ くんは、くりを 兵十の うちへ 持って きました。
- ⑤ 兵十は、火なわじゆうを ばたりと 取り落としました。

□ □ □ □ □